

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|--------|---------------|
| ○事業所名 | SOUFIRST栄野比 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 2月 16日 | | ～ 令和8年 2月 20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 6名 | (回答者数) | 6名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 2月 16日 | | ～ 令和8年 2月 20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 6名 | (回答者数) | 6名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 1日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 多機能型事業所の為、放課後デイの支援の時間帯は定員が約10名以下になり手厚く関わりが行える。 | 活動課題に対して個別や小集団、集団等わけて活動に取り組みやすい。 | 個別の課題に対して細かくアプローチしていく。 |
| 2 | 本人のペースで進める『個別課題』と、お友だちと刺激し合う『小集団課題』。1日のなかで2つのプログラムを使い分け、多角的な視点から成長をサポートしている。 | 発達段階に合わせ、児発と放デイで最適なカリキュラムを設定し、小集団での社会性育成と、個別の特性に合わせた課題提供を細かく使い分けている。 | 事業所での個別課題等で「これができたので、お家ではこう褒めてあげてください」といった、事業所での成果を生活に繋げる具体的なフィードバックを強化していく。 |
| 3 | 活動プログラムが固定化しないように様々な意見を取り入れ提供している。 | プログラムは子供達の意見や地域との関わり等も意識し取り入れている。 | 子供達と一緒に保護者様ご自身が参加・体験できるイベントの実施にも注力していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。 | 開所当初は事業所内における「安心・安全な居場所づくり」に注力していた為、今後行っていく。 | 長期休み時や祝祭日に放課後児童クラブ等の地域交流や同社内の放課後デイ事業所との交流も行っていく。 |
| 2 | 家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。 | 家族の相談事は積極的に聞き取りを行っているが、研修や情報提供の機会は行ってなかった。 | 保護者様の困りごとのニーズを聞き取りながら勉強会等の情報提供や開催を行っていく。 |
| 3 | 保護者会等の開催や、保護者同士の交流の機会が設けられていない。 | 保護者様のニーズを把握していなかった。 | 保護者会等のニーズを把握しながら、事業所の見学会等を開催し保護者が交流できる場を作っていく。 |